



進路だより

令和6年度

第10号

令和7年1月24日発行

渋川青翠高等学校 進路指導部

●● 進路体験記 ●●

今回は、自分の趣味とバイトでの経験を職業選択にいかした生徒、不安な気持ちを持ちながらも最後まで希望を捨てずに頑張り公立大学合格を果たした生徒、計2名の進路体験記を掲載します。1・2年生はぜひ今後の進路実現に向けて参考にしてください。

⑩ 就職 第一屋製パン株式会社高崎工場 商品管理職 女子

私は昔から絵を描くことが好きで高校入学当初はイラスト関係の仕事に就きたいと考えていましたので、様々なイラストに関係する専門学校のオープンスクールに参加していました。ですが、2年生の終わり頃に改めて親などと相談し、一から進路について考えた結果、専門学校に行くのは難しいと感じ、イラスト関係の仕事に就くという夢を諦めることにしました。

専門学校への進学の道を諦めたことで私の進路は必然的に就職の道しか残されていませんでした。私は自分に合う職種はなにかを大まかに考え、そこから学校に届いた求人票を閲覧することができる「Handy進路指導室」というシステムを使い企業を探すことにしました。

今までコンビニエンスストアとピザ屋でバイトをしてきましたが、接客を主とするコンビニエンスストアでの接客業が自分には合わないと感じていましたので、接客業は選択肢からはずして考えました。そこで私は昔から淡々と作業をすることや、パソコンを扱うことが好きだったため最初は事務系の仕事を探してみましたが、事務系の求人票はあまり見つからずどうしようかと悩んでいました。そんな時「Handy進路指導室」で「ポケモンパン」という単語を見つけました。私は昔からゲームが好きで、その中でもポケモンは大好きです。その「ポケモンパン」という単語に惹かれ詳細を見ました。それが第一屋製パン株式会社でした。第一屋製パンの仕事内容は「食品管理職」といって「出来上がった商品をそれぞれの店ごとに振り分ける」という仕事内容でした。淡々と作業をするのが好きな自分にとって向いている職業だと思い、第一屋製パンの試験を受けることに決めました。就職希望先を具体的に決定できたのは高校3年生の1学期後半頃でした。

その後企業見学に行き会社の雰囲気や「食品管理職」以外の仕事内容なども見学させていただきました。もう一つ候補に考えていた会社を見学しましたが選考試験応募に必須検定が定められており、その時期から取得するのは難しく諦めました。

就職選考会議後からは本格的に試験への準備を始めました。面接対策は担任の先生と副担任の先生との面接練習と教頭先生との面接練習をしました。今思うと、もっと色々な先生方に面接練習をしたほうが良かったと思っています。

選考方法は筆記試験と面接でした。筆記試験はSPI3-Hと呼ばれる一般常識テストで基本的な計算問題や漢字など問題が出題されました。実際に試験や面接を受けてみて、どちらもあまり身構えないで受けることができました。私は人前で話すことがとても苦手なのですがこの面接では最初は確かにとても緊張していましたが思っていたよりも話していくと緊張もほぐれ最後までしっかり受け答えをすることができました。面接の質問内容は、なぜこの会社を選んだか、部活動について、自分の趣味について、会社までの通勤方法などの質問がありました。

ここで勘違いしないでほしいのですが、これはあくまで自分の場合ですので他の会社も同じとは言いきれません。とても難しい問題が出題される筆記試験があったり、圧迫面接だったりすることもあるかもしれません。そのようなことも考え、勉強も面接練習も怠ってはいけません。たくさん勉強や練習をしておいていざ本番！ってなったとき臨機応変に対応できるようにしているととても安心なんじゃないかなと思います。

2・3年次 履修科目	
2年	文学国語 地理総合 歴史総合 物理基礎 地学基礎 体育 保健 美術Ⅱ 工芸一般Ⅰ デッサン 英語コミュニケーションⅡ ビジネス・コミュニケーション デザイン基礎 探究セミナー
3年	文学国語 日本史探究 世界史探究 数学セミナー 体育 工芸一般Ⅱ デッサン 英語コミュニケーションⅢ 保育基礎 構成 総合研究

⑩ 進学 高崎経済大学 経済学部 女子

私は1年生の時点で進学するか就職するか決まっておらず、なんとなく学校生活を送り、休む回数も多かったです。しかし、どちらを選択しても困らないように成績だけは意識して学校の勉強に取り組んできました。中学の頃から勉強が苦手でしたが、高校に入ってからには全体順位が5位以内に入れるように勉強してきました。評定平均は常に4.5以上取れるようにしてきました。

私が進路について真面目に考えだしたのは2年生の夏になってからです。進学する方向で考え始めた時に、自分が何も知らないことを思い知りました。どんな大学があるのか、どんな受験方法があるのか、調べなくてはと思いつつまだ曖昧な意識で生活していました。

授業の中で3年生が進路について今どんなことをしているのかを毎回の授業で話しをしてくださる先生がいました。そのような話を聞いて自分も焦りを感じました。夏休みには補習に参加したり、成績を意識したりと学習面では順調でしたが、なかなか具体的に進学したい大学が決まりませんでした。2学期になりビジネス系列を選択したことと、進学しその後の就職を考えた時に、経済やビジネスについて学べる大学に進学しよう決めることができました。そして県内の大学で最初に知った高崎経済大学に志望校を決めました。

受験方法は、公募推薦、一般試験の2つありました。一般試験では合格の可能性が低いと考え、公募推薦での受験することに決めました。2年生終了時点で欠席日数が公募推薦の校内基準ぎりぎりぎり3年生の1学期は休まないことを意識して学校生活を送りました。また、受験内容が英語のテスト、小論文、面接だったので英語に力を入れるようにしました。英語が一番苦手な教科でしたが英検に挑戦するなど苦手意識を克服できるよう取り組みました。

大学入試の試験は11月だったのですが、夏休みが明けるとあっという間に時は進んでいきました。出願書類を提出した時は、受かる可能性が低いと考え不合格だった時はどの大学を受験し、その大学の出願書類が締め切りに間に合うかなど、担任の先生と確認し受験日を迎えました。他の受験者たちはもっと勉強してきたんだろうな、どうせ無理だなど当日もネガティブ思考になってしまいました。試験科目は小論文、英語、面接試験でした。小論文は4~5ページの課題文を読み300字に要約するものと課題文に関係あるテーマの小論文を500字以内を書く問題が出題されました。英語の試験は、長文が4問一つにつき6から7問程度の小問で出題され、前年度の過去問は日本語での出題でしたが今回はすべて英語での出題となっていました。試験はとても難しく、面接も事前に対策したとはいえ緊張してうまく回答できていたのかわかりませんでした。

試験日から1週間後に合格発表がありました。落ちたのを前提で私は次の受験の準備を始めていました。しかし、結果は合格でした。信じられなくて何度も確認しました。

私は小論文、英語のどちらも3年の6~7月頃から本格的に学習をはじめ、足りていなかったと感じています。3年生になったら少しずつでも大学入試に向けての勉強をはじめることをおすすめします。勉強をする習慣は時間より何日続けられるかが大切だと思います。面接練習は最初から上手く出来ないのは当然なので、そこで諦めずに何度も多くの先生に協力してもらい練習することが大事です。

私は受験直前で、勉強量が足りていない、受からないのに受ける意味はあるのか、など投げ出したい気持ちになりました。しかし、いろいろな先生方が言うように挑戦することは大事だとこの受験を通して改めて感じました。足りていないと思っていた学習も自分が思うより少なからず力になっていたと思います。

周りの人がすべて同じ進路ではありません。同じでないということは友達と同じことをやっていればいいということではないと思います。自分が今何をすべきかを明確にし、自分の進路実現に向けて勉強や学校生活を送ることが大事だと思います。やればやっただけの結果が出るはずです。やらなかったことを後悔する前に挑戦してみましょう。みなさんが希望した進路を実現できるといいなと思っています。

2・3年次 履修科目							
2年	文学国語	地理総合	歴史総合	物理基礎	化学基礎	体育	保健
	英語コミュニケーションⅡ		ビジネス基礎	簿記	情報処理	探究セミナー	
3年	文学国語	数学セミナー	体育	英語コミュニケーションⅢ	マーケティング		
	ビジネス法規	財務会計Ⅰ	原価計算	ソフトウェア活用	総合研究		